

協会からの
情報提供は

- 一般向け情報誌

『森林と林業』

毎月25日発行

- 会員向け情報誌

『協会報日本林業』

毎月5日発行

いずれも土日祭日は
繰り下げ発行となります。**（一社）日本林業協会 第11回定時総会
林野庁長官以下のご臨席とともに
多くの会員の出席により盛大に開催**

（一社）日本林業協会は、令和6年2月28日（水）に令和6年度定時総会を開催し、①令和5年度事業報告、財務諸表、②公益目的支出計画実施報告書、令和6年度事業計画・収支予算書、③令和6年度会費の賦課等、④役員改選について審議し、すべて原案通り承認されました。

冒頭、島田会長から以下の挨拶が行われました。

「令和5年度の事業については、社会・経済活動がコロナ前に戻る中、概ね計画に即して実施できてきたものと考えております。とりわけ、昨年末に決定された令和6年度の予算概算決定並びに税制改正につきましては、林野庁の皆様のご尽力、関係団体の皆様のご支援・ご協力により要望通りの成果を上げることができました。

自民党での予算や税制に関する会議や要請活動等に多くの関係者の方々にご参加いただいたことに感謝申し上げます。続く令和6年は、元旦の能登半島地震など波乱の幕開けとなりました。能登半島地震により犠牲となられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

そうした中ではありますが、令和6年は温暖化による異常気象の問題や花粉症対策などを背景に森林・林業に対してさらに国民の皆さんの関心が高まってくるものと考えています。

こうした国民の皆様のご関心・期待の高まりにこたえていくため、我々林業関係者は、国産木材の利用拡大や新しい林業の導入などによる林業の活性化、国土強靱化対策としての治山事業・森林整備事業の一層の推進や増額される森林環境譲与税の活用による森林の適切な整備などを着実に進めていく事が求められています。

ご承知のように、今、自民党では、林政対策委員会やモリマチ議連等で森林・林業・木材産業の活性化対策や国産材活用推進等をテーマとして活発な議論が始められています。

我々団体としても、こうした動きを前向きに受けとめ、災害に強い森林づくりや循環型林業の実現など避けて通ることのできない課題に対し自民党や林野庁の力をお借りし、積極的に取り組んでいく必要があると考えています。



島田会長のご挨拶

目次:

日本林業協会 第11回定時総会 開催	1 ~ 3
森林を活かす都市の 木造化推進議員連盟 令和6年第1回 総会開催	4
国会・業界 行事日程(2月)	5 ・ 6

特に、循環型林業の確立に向けては、林業界にとって最大の課題となっている山元への利益還元による再造林推進対策など早急に取り組んでいかなければならない課題があります。

一昨年6月に我々林業協会をはじめとした関係7団体で署名・公表した「共同行動宣言」では、森林所有者が経営意欲を持って取り組める立木価格水準を念頭に、生産者と需要者が各々のコストを適切に転嫁することを前提とした生産・流通体制を築く」との目標を掲げ、立木市場の導入などの検討が進められてきたところです。しかしながら、こうした動きも具体的な改善の効果を上げるまでには、至っていない状況にあります。

行動宣言で掲げた目標の実現に向けた新たな取組みも含め、持続可能な森林・林業の構築に向けて会員の皆様の知恵もお借りし更に取り組んでいくことが必要と考えています。皆様の一層のご理解・ご協力をお願いしたいと考えています。

こうした課題への対応も含め、今後とも積極的な情報提供や各団体間の円滑な交流・連携に向けた働きかけ等に努めていく考えですので、引き続き関係の皆様のご支援をお願いする次第です。」

続いて、ご来賓としてご出席いただいた青山豊久・林野庁長官からご祝辞をいただきました。

本日、一般社団法人日本林業協会の第11回定時総会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。また、御列席の皆様方には、日頃から森林・林業・木材産業行政全般にわたり、格別の御支援、御協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

はじめに、令和6年能登半島地震により亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

林野庁では、地震発生直後から職員派遣や現地の被害状況調査を実施するなどの支援に取り組んできたところです。また、1月に取りまとめた「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ」に基づき、1日でも早い生業の再建に向けて、林地・林道、木材加工流通施設、特用林産施設等の復旧等に全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様方のお力添えのほど、よろしく願い申し上げます。

さて、近年は、地球温暖化の影響等により、大規模な豪雨災害などが頻発しているほか、地震活動も活発化しており、山の災害はもとより、河川の氾濫・浸水被害も毎年のように発生しております。林野庁としても引き続き、地域の皆様の「いのち」と「くらし」を守るべく、防災・減災、国土強靱化に向けて、森林整備や治山対策を強力に推進してまいります。

また、戦後我が国において造成してきた人工林の多くが利用期を迎えており、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用のサイクルを確立し、2050年カーボンニュートラルの実現と地域の林業・木材産業の成長産業化に貢献していくことが重要と考えております。そのためにも、林道・路網の整備や機能強化、木材加工流通施設の整備等、生産基盤の強化をしっかりと進めてまいります。

令和4年6月に貴協会を中心として宣言された、森林・林業・木材産業関連団体の皆様による「時代の要請に応える国産材の安定供給体制の構築に向けて（共同行動宣言2022）」も踏まえ、林野庁においても、持続可能な国産材供給体制の構築に向け、引き続き全力で取り組んでまいりますので、会員の皆様のご理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会と会員の皆様方のますますの御発展を心から御祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



青山長官のご祝辞

令和6年2月28日

林野庁長官 青山 豊久

なお、ご出席いただいたご来賓は以下の方々です。

長 官	あおやま とよひさ 青山 豊久
次 長	こさか ぜんたろう 小坂 善太郎
森林整備部長	ながさきや けいた 長崎屋 圭太
国有林野部長	たちばな まさゆき 橘 政行
計画課長	さいとう けんいち 齋藤 健一
経営企画課長	しんじょう えいいち 眞城 栄一
広報官	はっとり こうじ 服部 浩治
林政課総務班補佐	たのうえ しんじ 田ノ上 眞司

また、承認された新役員名簿は次のとおりです。

(注：令和6年度事業計画（令和6年1月1日～令和6年12月31日）は、「日本林業2024年1月号」のP3～P5に掲載済み)

一般社団法人日本林業協会 役員名簿

令和6年2月28日

役員名	常勤・非常勤	氏名	所属団体	職名
会 長	常 勤	島田 泰助	学識経験者	
副 会 長	非 常 勤	本郷 浩二	(一社) 全国木材組合連合会	副 会 長
〃	〃	中崎 和久	全国森林組合連合会	代表理事会長
〃	〃	沼田 正俊	(一財) 日本森林林業振興会	会 長
〃	〃	津元 頼光	(一社) 日本治山治水協会	専務理事
専務理事	<兼務>	島田 泰助	学識経験者	
理 事	非 常 勤	堂本 整	(一社) 日本林業土木連合協会	専務理事
〃	〃	吉川 重幹	(一社) 日本林業経営者協会	会 長
〃	〃	中原 丈夫	日本林業同友会	副 会 長
〃	〃	永田 信	(公社) 大日本山林会	会 長
〃	〃	中山 聡	(一社) 全国林業改良普及協会	専務理事
〃	〃	沖 修司	(公社) 国土緑化推進機構	専務理事
〃	〃	原田 隆行	日本製紙連合会	常務理事
〃	〃	古久保英嗣	(公財) 日本住宅・木材技術センター	理 事 長
〃	〃	川野 康朗	(一社) 全国森林土木建設業協会	専務理事
〃	〃	金山 誠	全国水源林造林協議会連合会	常務理事
〃	〃	小山富美男	全国国有林造林生産業連絡協議会	専務理事
〃	〃	吉野 示右	(一財) 日本木材総合情報センター	業務執行理事

(理事17名 順不同)

役員名	常勤・非常勤	氏名	所属団体	職名
監 事	非 常 勤	黒田 仁志	全国林業研究グループ連絡協議会	副 会 長
〃	〃	高原 繁	(公財) 国際緑化推進センター	専務理事
〃	〃	高野 敦	埼玉県林業協会	専務理事

(監事3名 順不同)

もり まち
森林を活かす都市の木造化推進議員連盟
(通称「もりまち議連」)の令和6年第1回総会開催
多数の国会議員が出席され熱心に審議

令和6年2月20日(火)に「もりまち議連」の令和6年第1回総会が自民党本部で開催されました。最初に金子幹事長が挨拶に立たれ、冒頭、令和6年能登半島地震亡くなられた方のお悔やみと被災された方々へのお見舞いを述べられた後、「先日、吉野会長から私に対しまして、「会長代行をお願いしたい」とのご相談がありまして、お受けすることといたしました。当面の間、会長代行 兼 幹事長として本議連に関わらせていただきます。本日は都市の木造化に関連する令和6年度予算の概算要求の内容等について、また、以前から本議連で議論しておりました木造建築物の耐用年数に関する検討状況や皆様のご尽力により成立した「都市の木造化推進法」で法定された木材利用促進月間の取組状況についても併せて聴取いたします。来年度はいよいよ皇居前において東京海上日動グループの新店ビルの建設が開始される予定であるなど、都市の木造化の流れが益々加速化してきております。これからの更なる進展に向けて、本日も皆様から活発なご意見をいただければと思います。」と述べられました。

続いて、協議会を代表して、島田会長から、「先生方の多大なご尽力によりまして、「都市の木造化推進法」を実現いただくから既に3年になろうとしております。この法律を受け、中高層木造ビルをはじめ数多くの木造施設が計画、建築されるなど大きなうねりとなり全国に拡がりつつあります。これもひとえに先生方のお力の賜物と心より感謝申し上げる次第でございます。こうした動きをさらにしっかりと大きな流れにしていくよう引き続き我々も全力で取り組んでいきたい。」と挨拶しました。

早速議事に入り、令和6年度の都市木造化予算要求について、林野庁、国土交通省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省から資料に基づき説明がなされました。続いて、林野庁から「令和5年度木材利用促進月間の取組について」及び国土交通省から「耐用年数に関する検討状況等について」の報告がなされ、質疑に移りました。

出席された議員からは、「耐用年数の見直しには時間が掛かろうが木質部材の耐久性の検証は重要」、「能登半島地震の揺れの時間は相当長かったと思われる。南海トラフ地震などを考えると揺れの時間の長さや耐久性についての検討が不可欠」、「花粉症対策において、スギの面積の違いなどで都道府県ごとの対象面積や取組みに濃淡があるのか?」、「耐震強度が増すと検証結果は秋頃なのだろうが重要な課題」、「耐用年数の見直しを実現するのは何時ごろか?」、「大阪万博のリングは世界最大級の木造建築と聞くがもっとPRすべきではないか?」、「国産材活用住宅ラベル」は良いアイデア。木造化・木質化の普及に効果的」などの活発な意見が出され、各省庁から回答が行われた後、金子会長代行から、「各省庁が一生懸命取り組んでいることに感謝。また、3月4日午後には見たことのない木造施設の視察ができるとしており、中高層建築も良いがこのような街中施設が東京の名所になり多くの方々の目に触れることで更なる普及・拡大に繋がると大いに期待している。先生方には各省庁の頑張りを受け止めていただき一層のPRをお願いしたい。」とのご挨拶があり、引続き積極的な活動や取組みを行っていくことを確認して盛会裏に総会を終えました。



金子恭之・もりまち議連会長代行のご挨拶



島田泰助・もりまち協議会会長の挨拶

令和 6年 2月 国会の動き

《国会関連》

- 1日(木) 衆・参 本会議
 国務大臣の演説に対する代表質問
- 2日(金) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 提説
- 2日(金) 参 本会議
 国務大臣の演説に対する代表質問
- 5日(月) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 基本的質疑
- 6日(火) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 基本的質疑
- 7日(水) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 基本的質疑
- 8日(木) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑
- 9日(金) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑・集中審議
- 13日(火) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑
- 14日(水) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 集中審議
- 15日(木) 衆 本会議
 令和6年度地方財政計画報告、地方税関連
 2法案 趣説・質疑
- 15日(木) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑
- 16日(金) 参 災害対策特別委員会
 令和6年能登半島地震に係る被害状況等につ
 いて防災担当大臣から報告聴取、一般質疑
- 19日(月) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑
- 20日(火) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑
- 21日(水) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑
- 22日(木) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 一般的質疑
- 26日(月) 衆 予算委員会
 令和6年度総予算 集中審議
- 27日(火) 衆 予算委員会(第6分科会(農林
 水産省・環境省所管))

令和 6年 2月 業界の動き

- 2月2日(金) 内閣府
 「森林と生活に関する世論調査」結果
 を公表
- 2月3日(土) 関東森林管理局・地域協議会・日
 本自然保護協会
 「赤谷の森20周年記念報告会」をみな
 かみ町で開催
- 2月8日～9日 林業機械化協会
 「令和5年度林業イノベーション現場
 実装シンポジウム」を開催
- 2月8日～10日 大阪府木材連合会
 能登半島地震義援金を輪島市・珠洲
 市に手渡し
- 2月15日(木) 住友林業(株)
 「森林経営計画変更時における不正事
 案」を報告(決算説明会)
- 2月15日(木) 住友林業(株)
 いわき市でのスギ工場新設計画を発
 表
- 2月15日(木) 田島山業(株)
 LINEヤフー(株)、及び飯野海運(株)
 の両社との間でCO₂販売契約を締結
- 2月16日(金) 林野庁
 「(都道府県ごとの)スギ人工林伐採
 重点区域」を公表
- 2月 林野庁
 閣議決定に向け新「森林整備保全事
 業計画(案)」作成

令和 6年 2月 国会の動き

令和6年度総予算 分科会（1日目）
28日（水）衆 予算委員会（第6分科会（農林水産省・環境省所管））

令和6年度総予算 分科会（2日目）
29日（木）衆 予算委員会 令和6年度総予算中央公聴会

《政党関連》

1日（木）自 政調、外国人労働者等特別委員会
1. 政府方針（案）について
2. デジタルノマド受入れに係る制度の検討状況について

1日（木）自 政調、総合農林政策調査会・農林部会合同会議
（1）今通常国会農林水産省提出予定法案について
（2）令和5年度「食料・農業・農村白書」及び「森林・林業白書」構成案について
（3）能登半島地震被害等の報告について

2日（金）公 農林水産部会
①今通常国会農林水産省提出予定法案について
②能登半島地震被害等の報告について

2日（金）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
能登半島地震における最新の被害・復旧状況の報告と現地からの要望事項などについて

5日（月）自 政調、外国人労働者等特別委員会
技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議最終報告書を踏まえた政府方針（案）について

7日（水）自 政調、林政対策委員会
（1）森林経営管理制度の取組状況について
（2）森林環境税・森林環境譲与税について
（3）花粉症対策に関する取組について

7日（水）公 外国人材の受入れ対策本部
議題1. 技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議最終報告書を踏まえた政府方針（案）について 議題2. 特定技能制度の対象分野追加に係る検討状況について 議題3. デジタルノマド受入れに係る制度の検討状況について

14日（水）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
①避難所（1～2次）の現状
②上下水道の復旧状況
③仮設住宅の現状と見通し
④介護現場の課題
⑤生業支援（交付金等）の詳細

21日（水）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
①最新の「能登半島地震被害状況等」について（内閣府防災）
②前回（第7回）の災対本部で出た要望への回答（関係省庁）
③現場からの新たな要望事項などについて意見交換

22日（木）自 政調、山村振興特別委員会
（1）令和6年度 山村振興関係予算概算決定等について
（2）山の恵みマルシェについて（報告）
（3）全国山村振興連盟からの要請等

22日（木）自 政調、林政対策委員会
事業者ヒアリング（川上関係）

27日（火）自 政調、林政対策委員会
事業者ヒアリング（川上・川中関係）

28日（水）公 令和6年能登半島地震災害対策本部
①「新たな支援金制度」の詳細について（厚生労働省）
②前回（第8回）の災対本部で出た要望への回答（関係省庁）
③現場からの要望事項などについて質疑応答（関係省庁）

28日（水）自 東日本大震災復興加速化本部 総会
「東日本大震災 復興加速化のための第12次提言（案）」について

28日（水）公 東日本大震災復興加速化本部
復興加速化のための第12次提言案について